令和2年4月15日

**令和元年（1～12月）冷凍食品の生産・消費について（速報）**

一般社団法人　日本冷凍食品協会

1. **国内生産**

**（１）総論**

当協会調べによる令和元年（1～12月）のわが国の冷凍食品国内生産は、数量が1,597,319トン（対前年比（以下、同じ）100.6％）と前年を僅かに上回り、金額（工場出荷額）は7,131億円（99.5％）と前年を僅かに下回ったが、平成29年以降連続して7,100億円台となった。

表-１



**（２）業務用・家庭用別**

業務用は、数量が903,125トン（100.4％）で増加に転じ、金額は3,970億円（99.8％）で2年連続の減少となった。

一方、家庭用は、数量が694,194トン（101.0％）で、金額は3,161億円（99.0％）となり、数量は5年連続で増加、金額は僅かながら減少となった。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ56.5％、43.5％（前年56.7％、43.3％）、金額ベースでは55.7％、44.3％（前年55.5％、44.5％）となり、数量ベースは家庭用の率がやや上昇し、金額ベースでは業務用の比率がやや上昇した。

表-２　数量



表-３　金額



**（３）品目別**

大分類の品目別生産量では、水産物（95.3％）が引き続き減少し、北海道の原料生産が回復した農産物（103.7％）が増加したほか、国内生産の大半を占める調理食品（101.0％）が引き続き増加した。

小分類の品目で前年に対して大きく増加したのは、うどん（19,243トン増、111.1％）、ハンバーグ（5,211トン増、108.0％）、卵製品（4,544トン増、111.3％）、グラタン（4,447トン増、120.4%）などであった。

減少したのは、中華まんじゅう（8,277トン減、71.0％）、コロッケ（7,962トン減、95.4％）、カツ（6,030トン減、90.8％）などであった（但し、「うち～、その他の～」を除く）。

　　　小分類の品目別生産量における上位20品目をみると、平成27年以降連続で1位だったコロッケをうどんが逆転し、2位がコロッケ、3位は炒飯となった。順位を上げたのは、6位から5位となったハンバーグと、8位から6位となったラーメン類などであった。中華まんじゅうが14位から19位に順位を下げた。

表-４



1. **輸入**

**（１）冷凍野菜**

　財務省貿易統計による令和元年(１～12月)のわが国の冷凍野菜輸入量は、1,089,449トン（103.6％）と5年連続の増加となった。輸入額は、2,009億円（103.0％）と3年連続の増加となった。

　　輸入量が増加した主な品目としては、ポテト（13,796トン増、103.6％）、ブロッコリー（1,725トン増、103.0％）、えだまめ（1,207トン増、101.6％）などであった。

　 主な輸入先である中国（18,708トン増、104.0％）は総じて増加したほか、アメリカ（17,452トン増、105.5％)もポテトを中心に増加、ベトナム（4,558トン増、126.2％）も増加した。昨年、増加したオランダ（5,227トン減、85.1％）はポテトを中心に減少となった。

表-５



**（２）調理冷凍食品**

令和元年の調理冷凍食品輸入量は、264,620トン(104.0％)、金額は1,630億円(99.3％)となり、数量は増加、金額は僅かに下回った。

輸入量を業務用と家庭用で分けてみると、業務用は217,043トン（101.4％)、家庭用47,577トン(118.0％)となり、金額は業務用は1,262億円（95.9％）、家庭用は367億円（113.0％）と、業務用は量が僅かに増加したが、金額は減少し、家庭用は量、金額ともに大幅に増加した。

国別輸入量では、主要な輸入先の中国（9,152トン増、107.2％）は増加したが、ベトナム（1,867トン減、80.6％）、タイ（810トン減、99.3％）が減少した。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている37社を対象にしたものであり、わが国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表-６　輸入量・金額の推移



表-７国別の輸入量推移



**３．国内消費**

当協会では、「冷凍食品国内生産量」、「冷凍野菜輸入量」及び「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

令和元年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量 1,597,319トンに、冷凍野菜輸入量1,089,449トンと、調理冷凍食品輸入量264,620トンを加えた2,951,388トン（102.0％）であった。これを総人口（126,167千人）で割った国民１人当りの年間消費量は、23.4キログラム（0.5キログラム増、102.2％）となり、いずれも過去最高を記録した。また、金額ベースは1兆770億円と3年連続1兆円を上回った。

なお、前述のように調理冷凍食品の輸入については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると、実際の「消費量」はこの295万トンを上回るものと考えられる。

表-８　数量



表-９ 金額



**≪別添資料≫**

１．冷凍食品の国内生産及び消費

２．品目別国内生産

３．品目別国内生産及び構成比率と1キログラム当り金額

４．国内生産量上位20品目（平成26～令和元年推移）

５．冷凍野菜品目別生産国別輸入

６．調理冷凍食品輸入

７．調理冷凍食品輸入（平成21～令和元年推移）

８．調理冷凍食品輸入　品目別取扱社数・国別主要品目

|  |
| --- |
| 《問い合わせ先》一般社団法人　日本冷凍食品協会〒104-0045　東京都中央区築地3丁目17番9号 興和日東ビル4階担当 ： 総務企画部企画調査課　横塚TEL:０３－３５４１－３００３FAX:０３－３５４１－３０１２E-mail:yokotsuka@reishokukyo.or.jp |